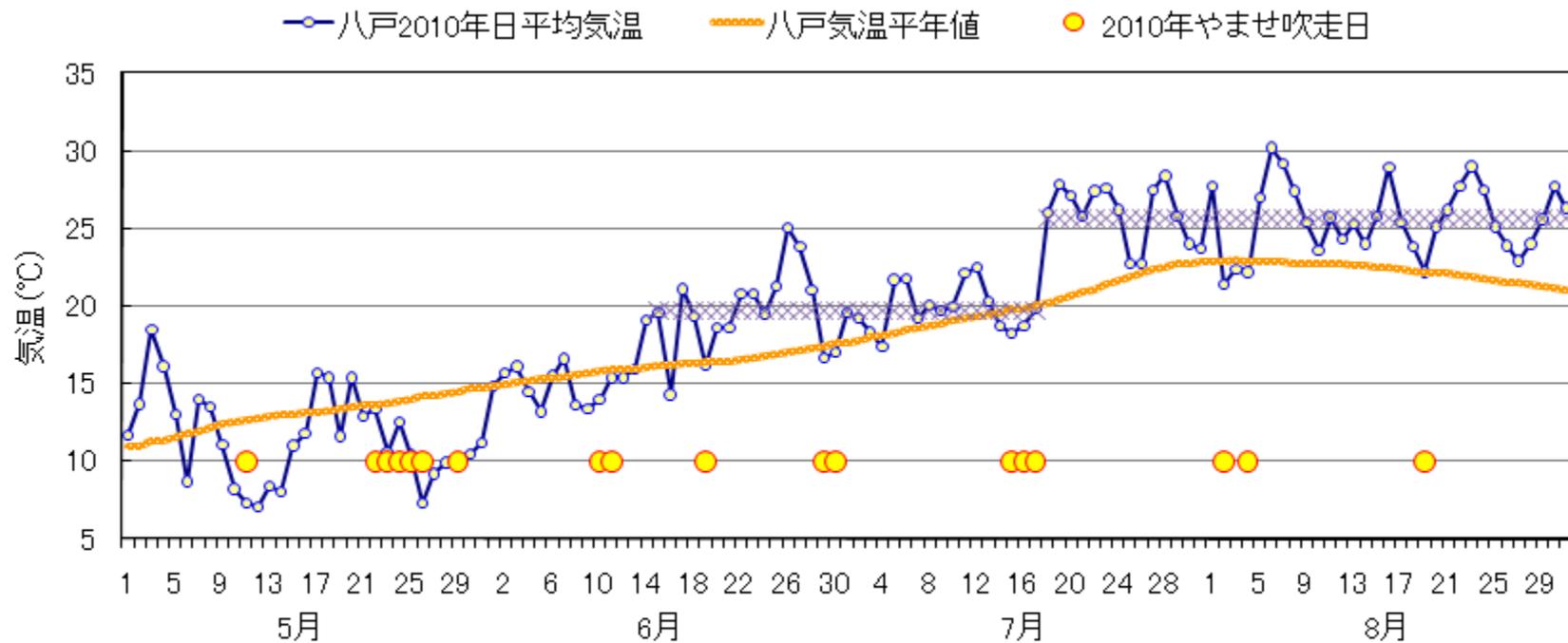
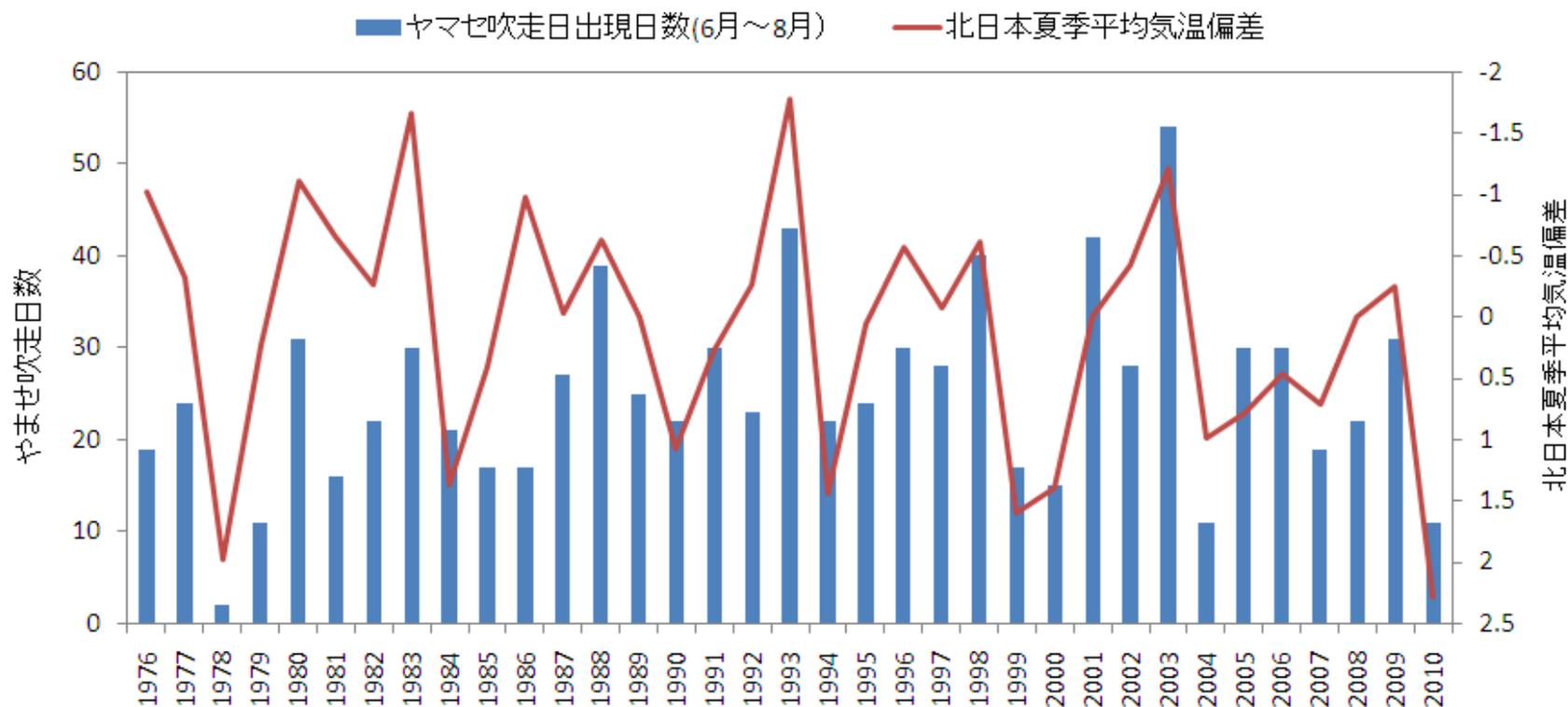


ヤマセによる農作物被害軽減の ためのダウンスケールデータ

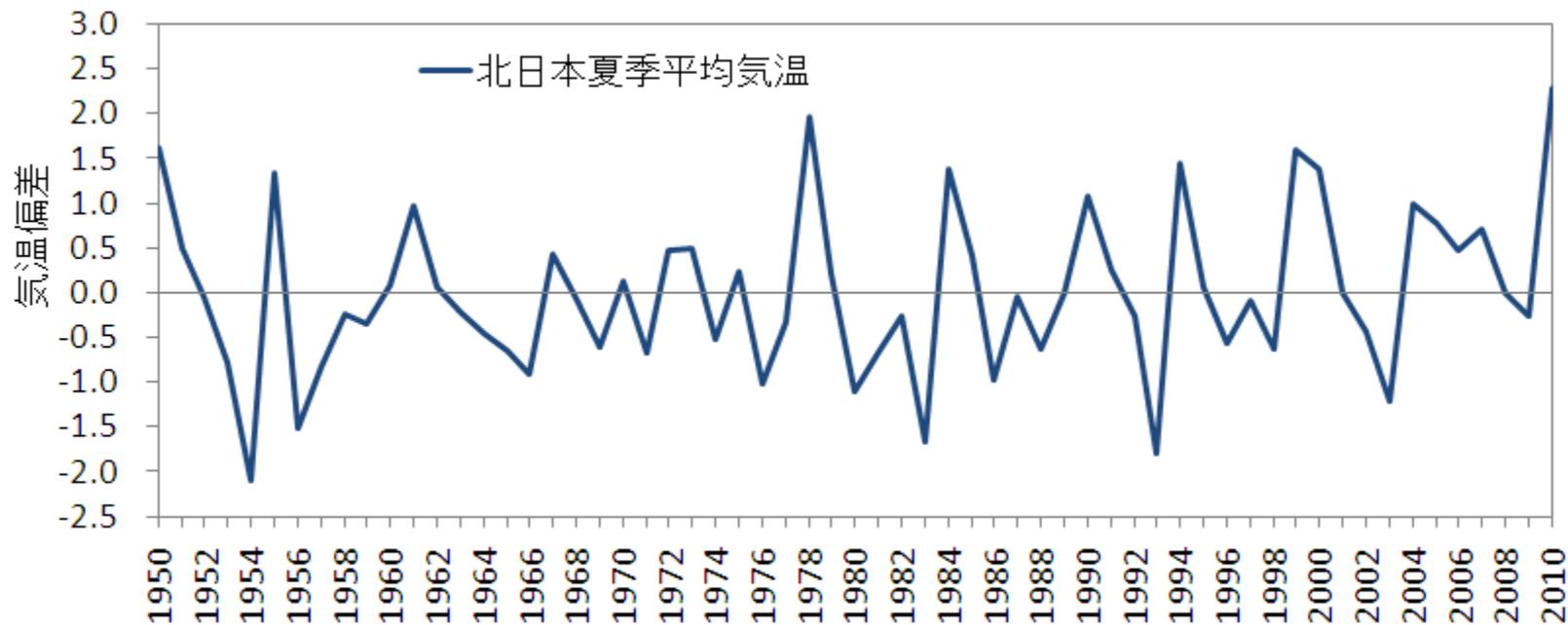
(独)農業・食品産業技術総合研究機
構 東北農業研究センター やませ
気象変動研究チーム 菅野洋光



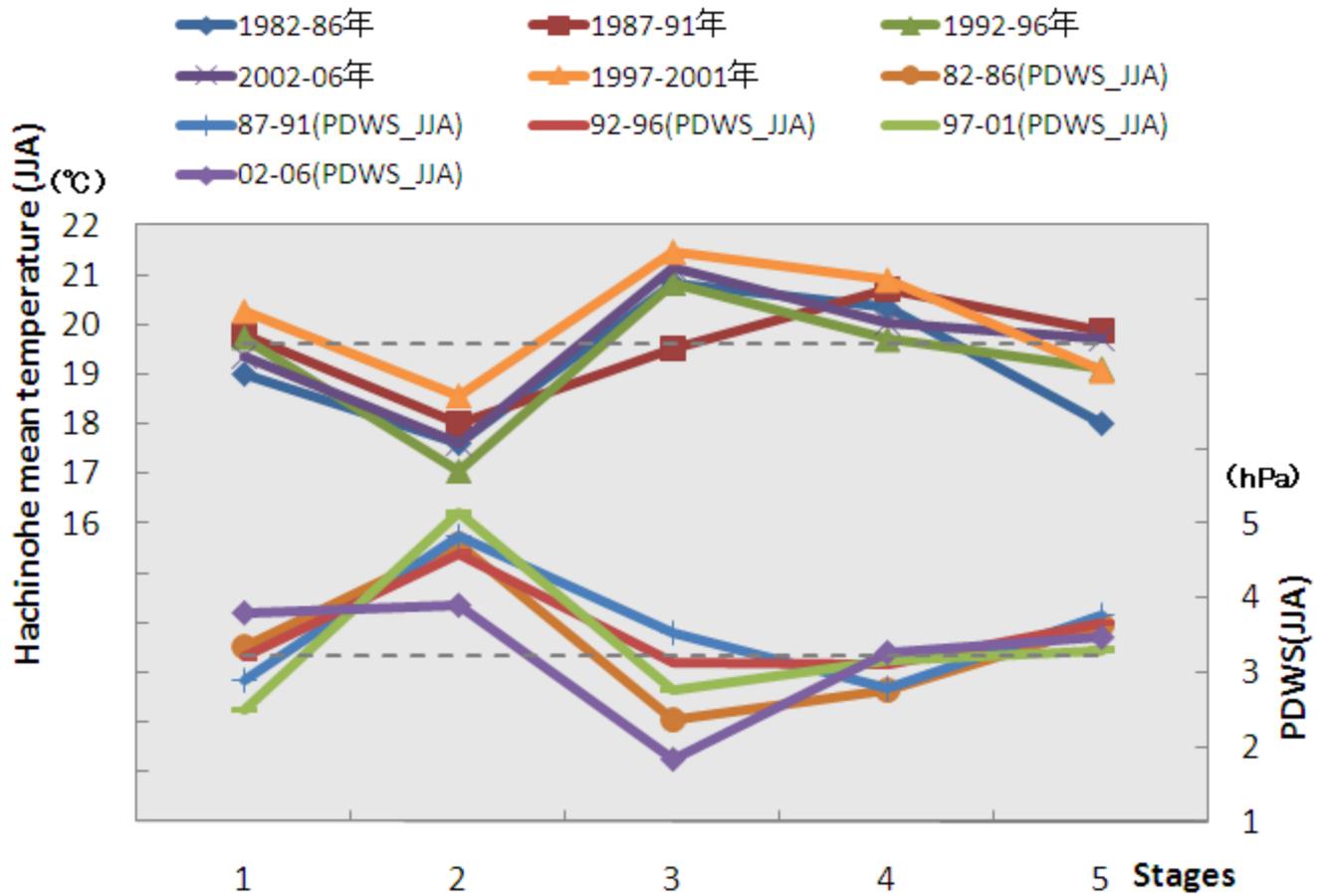
青森県八戸における日平均気温(2010年5月～8月)
○はやませ吹走日



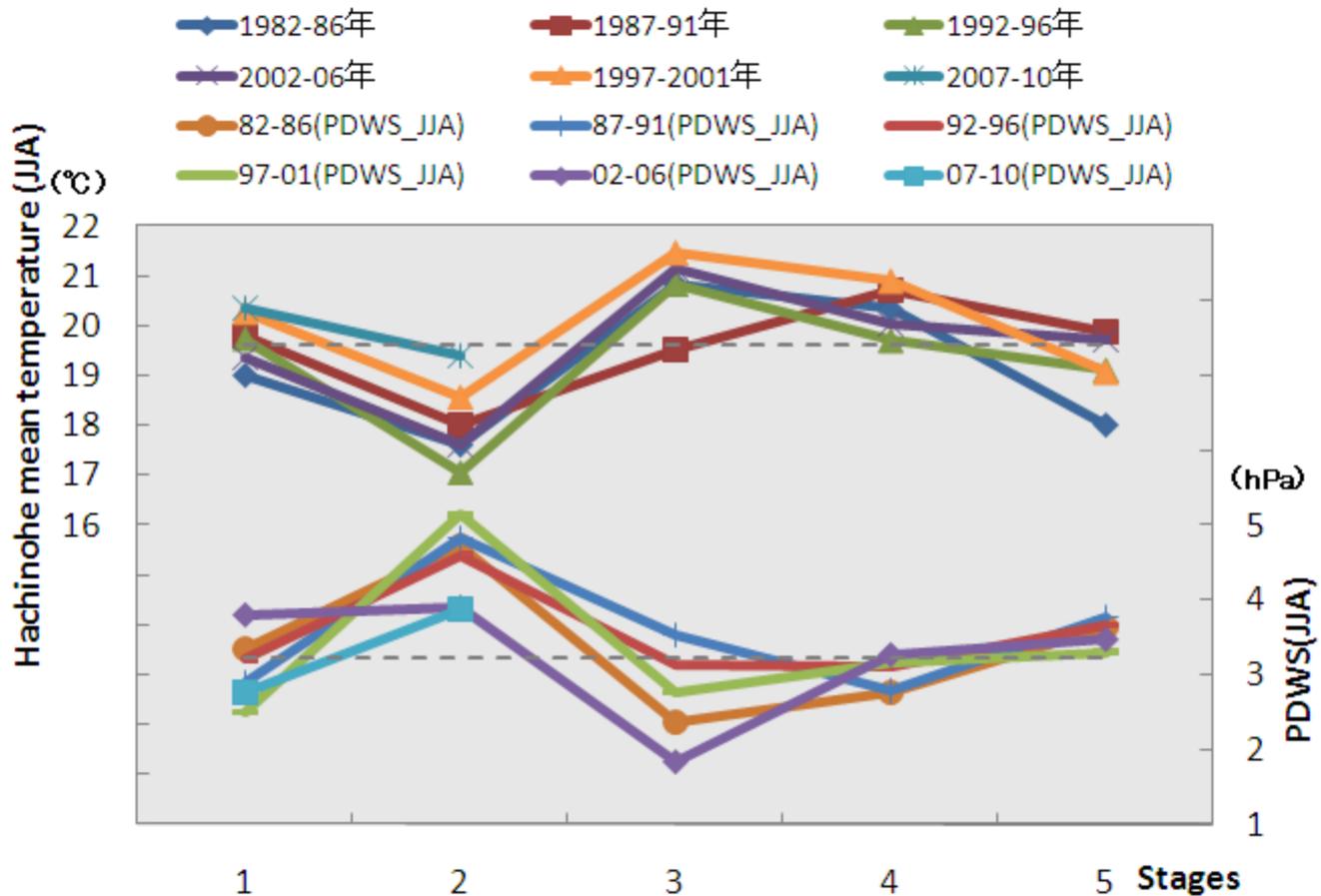
やませ吹走日の出現日数(6月～8月)と北日本夏季平均気温偏差(1976～2010年). 気温偏差は上が負.



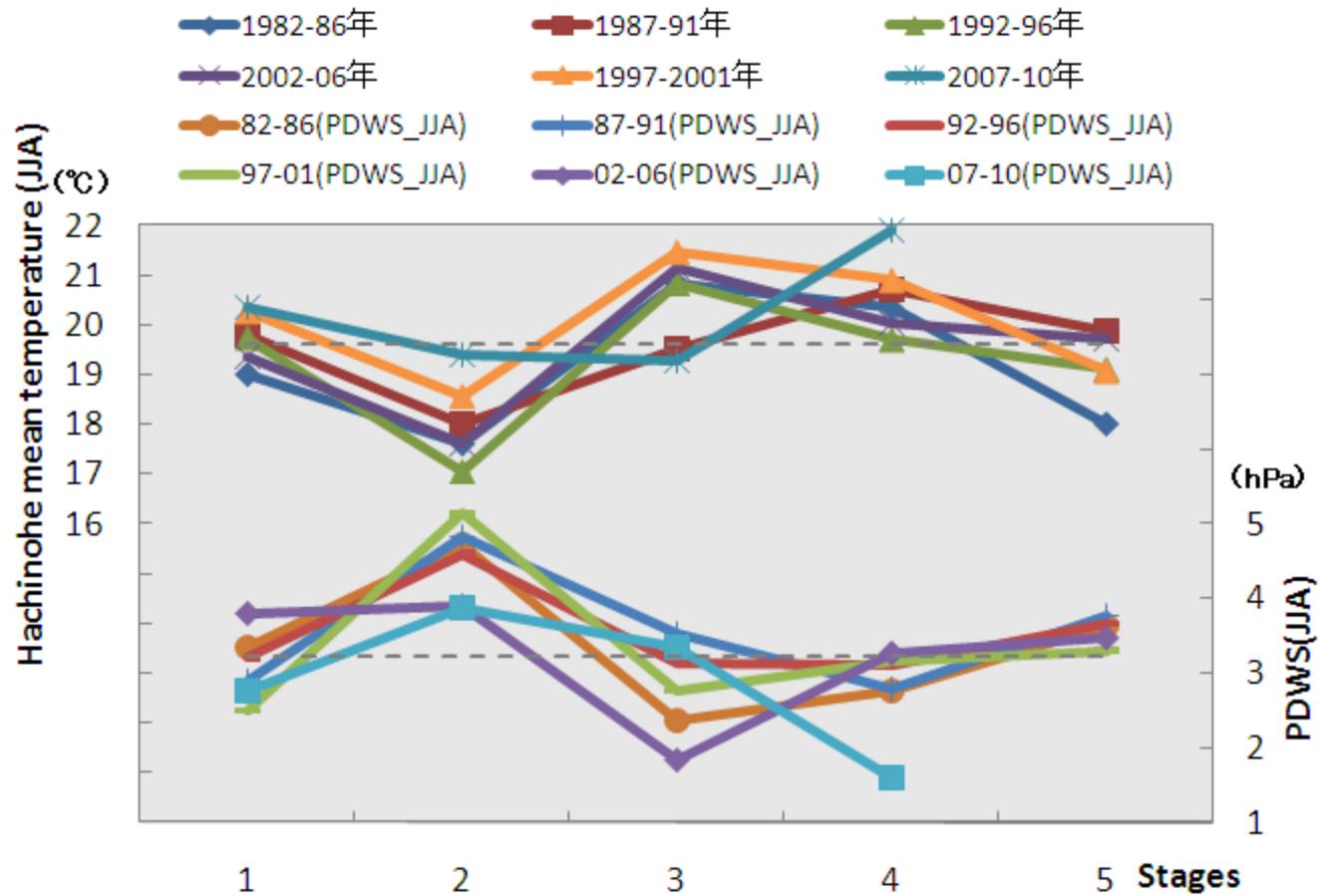
北日本夏季気温(JJA)の年々変動



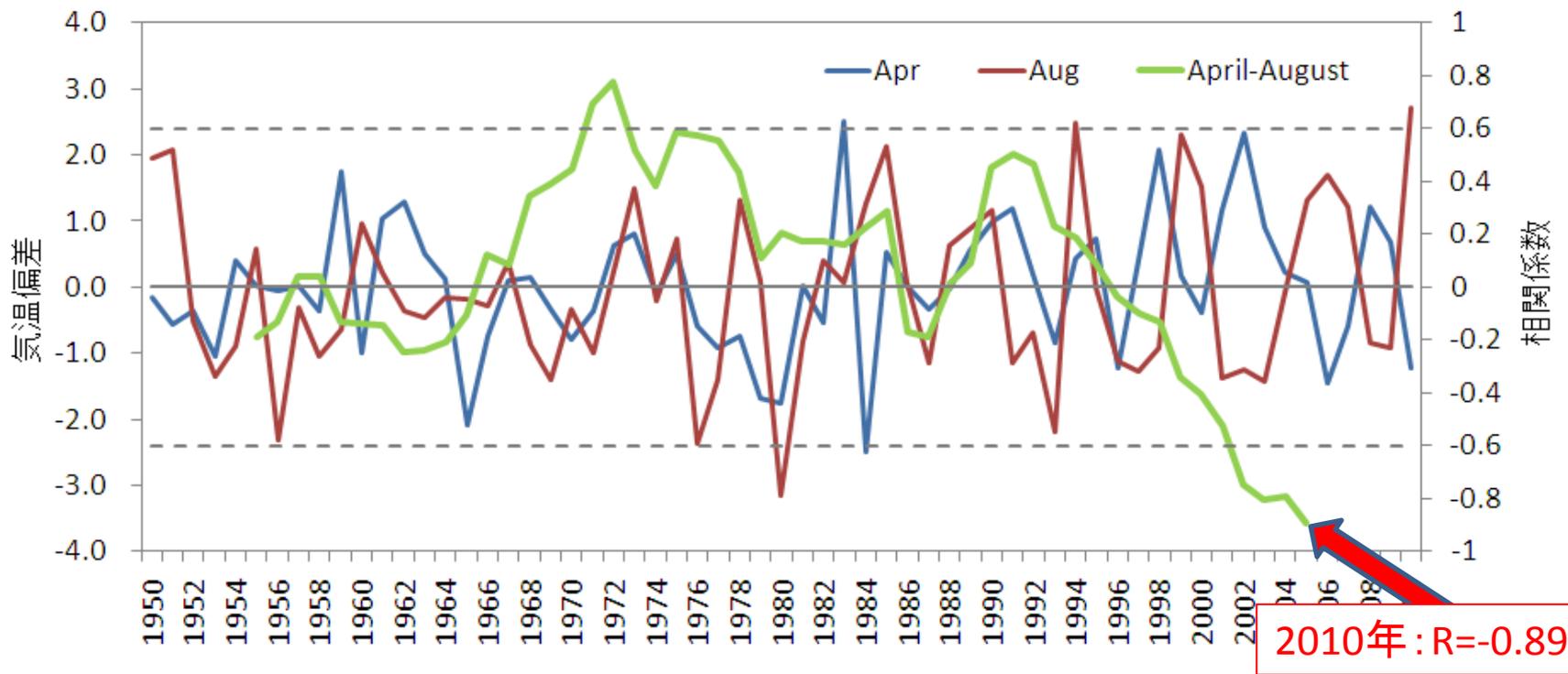
八戸における夏季平均気温の1982年を起点とする5年ごとの重ね合わせ. 下は同じく稚内と仙台の気圧差.



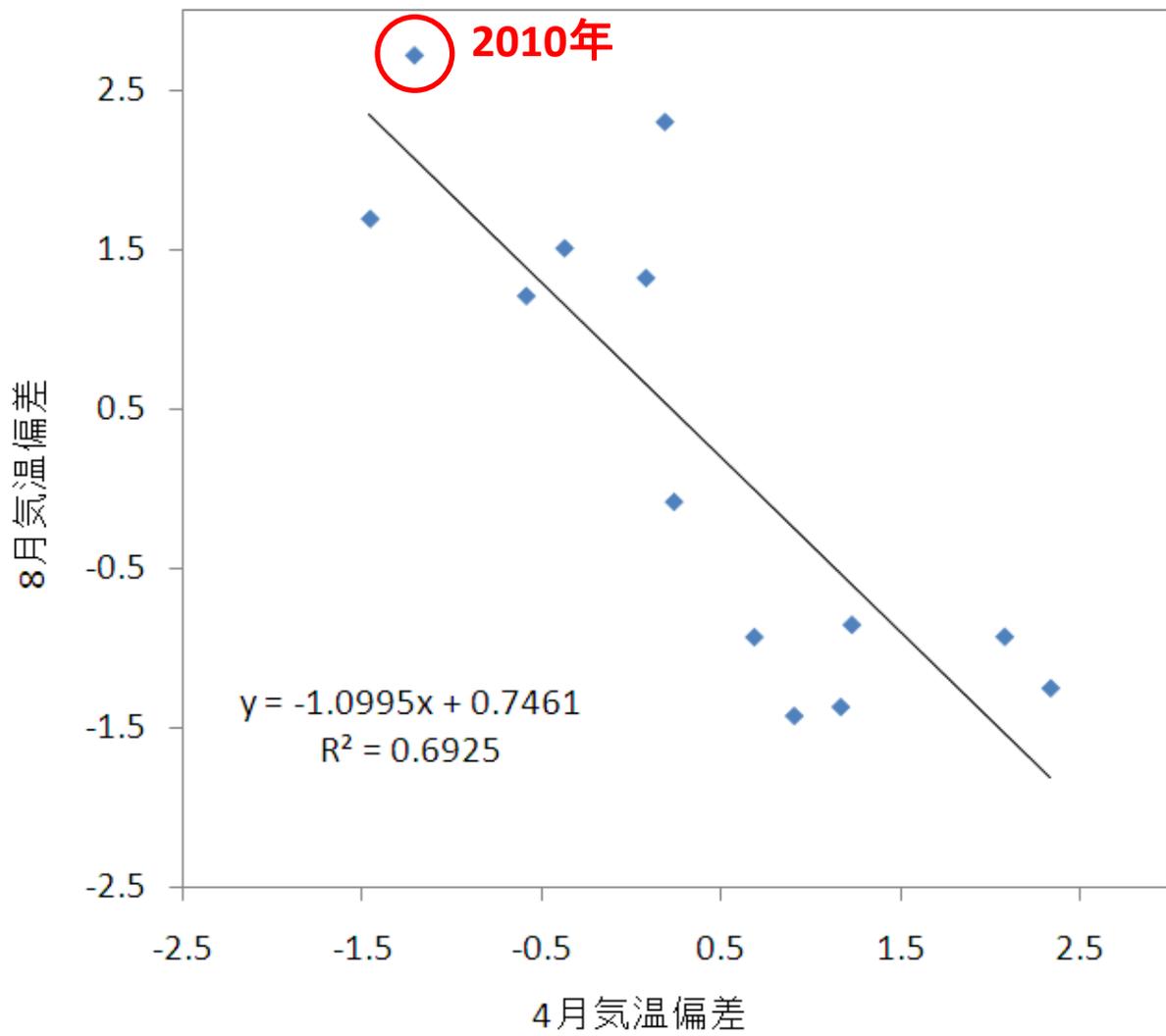
八戸における夏季平均気温の1982年を起点とする5年ごとの重ね合わせ. 下は同じく稚内と仙台の気圧差.



八戸における夏季平均気温の1982年を起点とする5年ごとの重ね合わせ. 下は同じく稚内と仙台の気圧差.

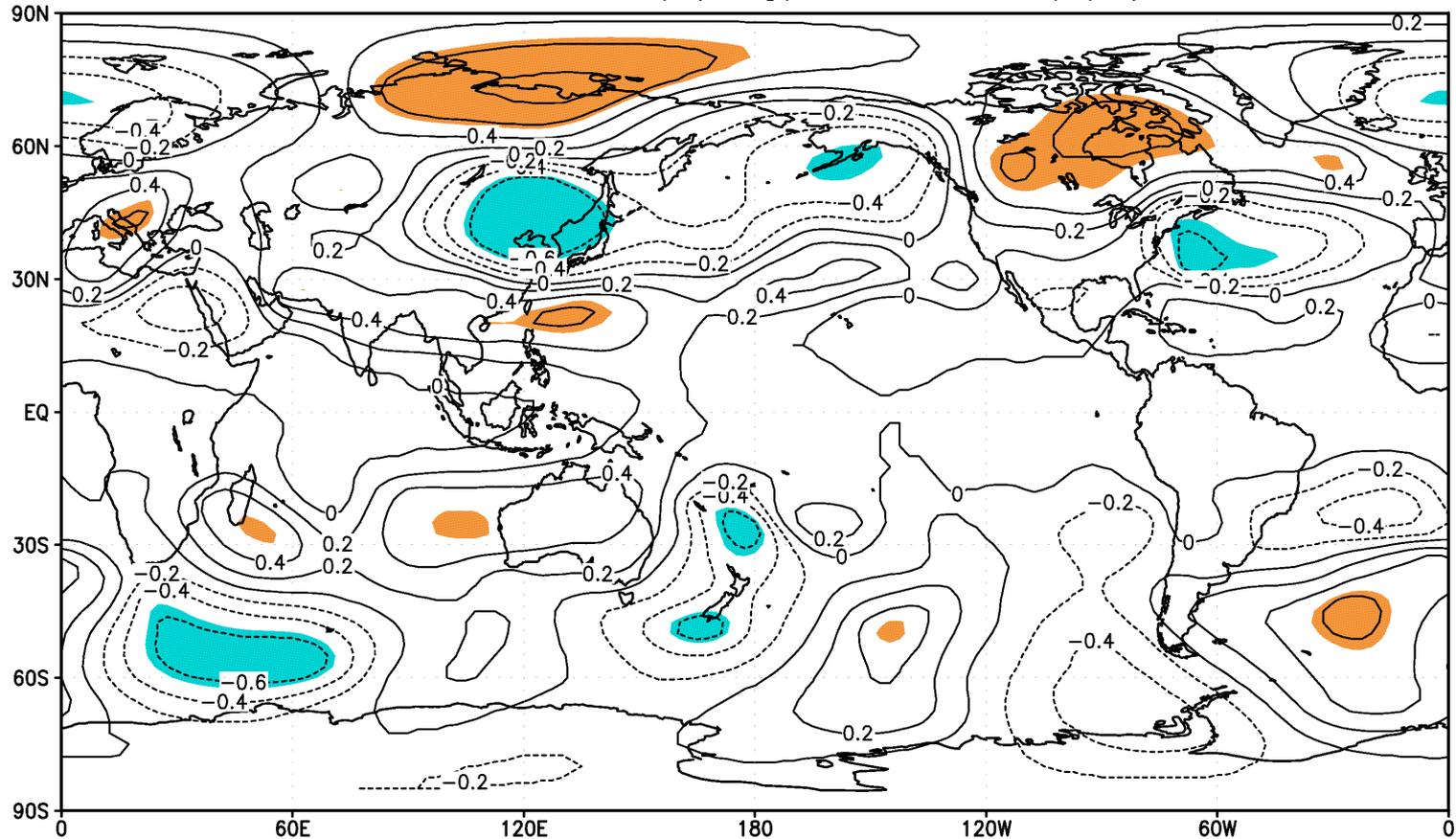


北日本における4月と8月の月平均気温の時間変化、
および11年の移動相関係数.



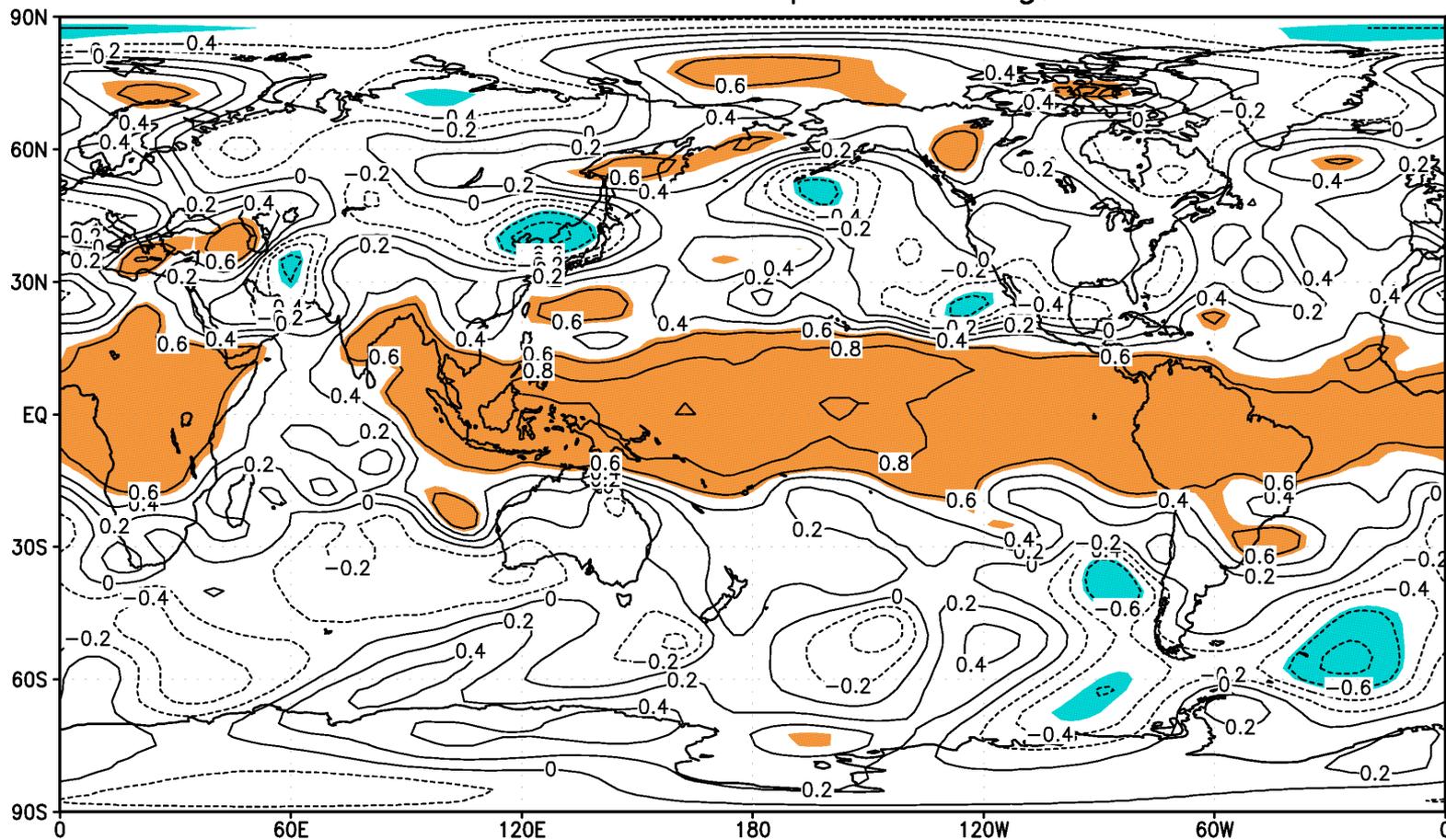
4月と8月気温の散布図(1998年～2010年)

Correlation between NJtemp(Aug) and 200h(Apr), 1998–2010

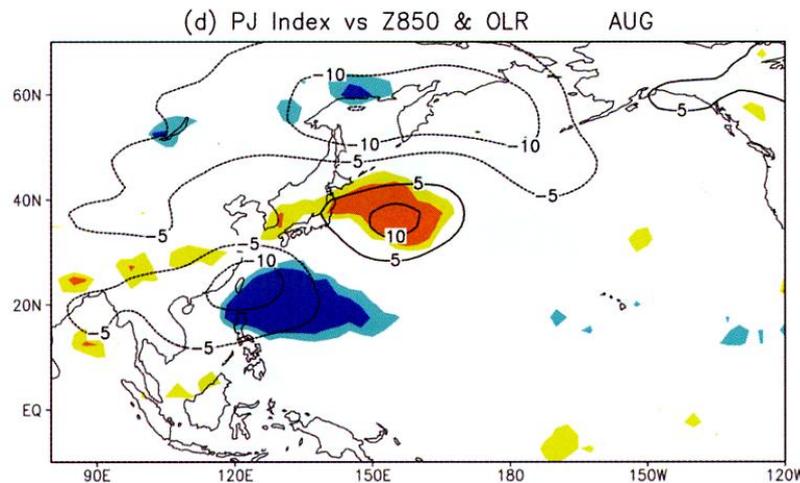
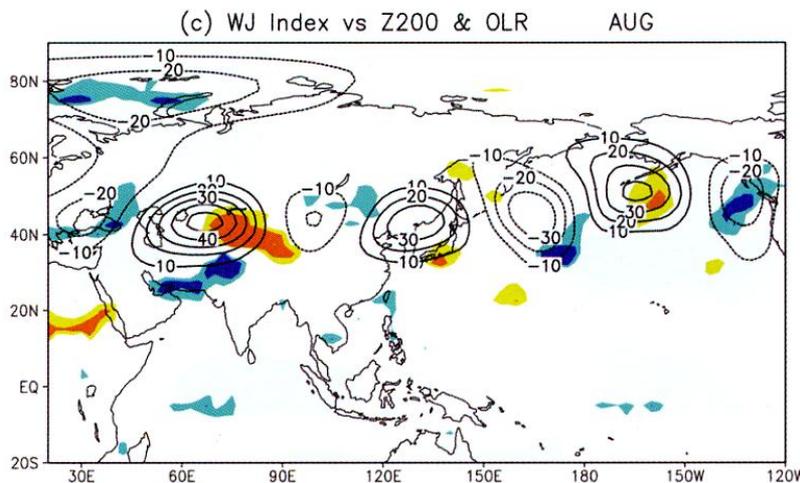
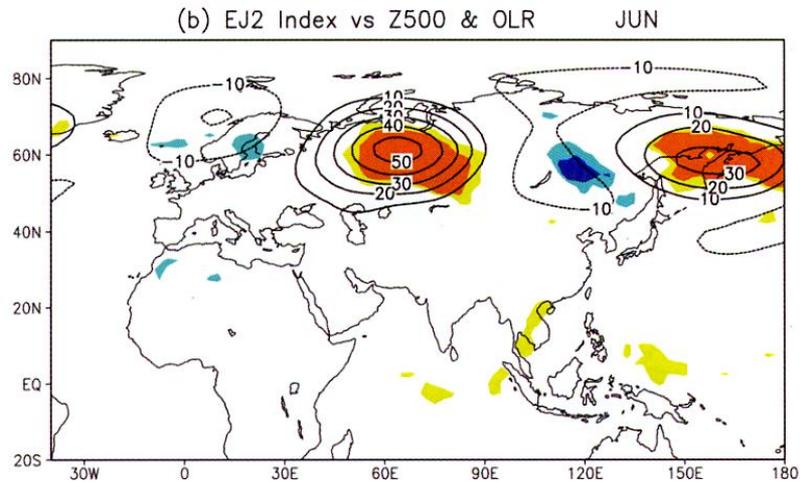
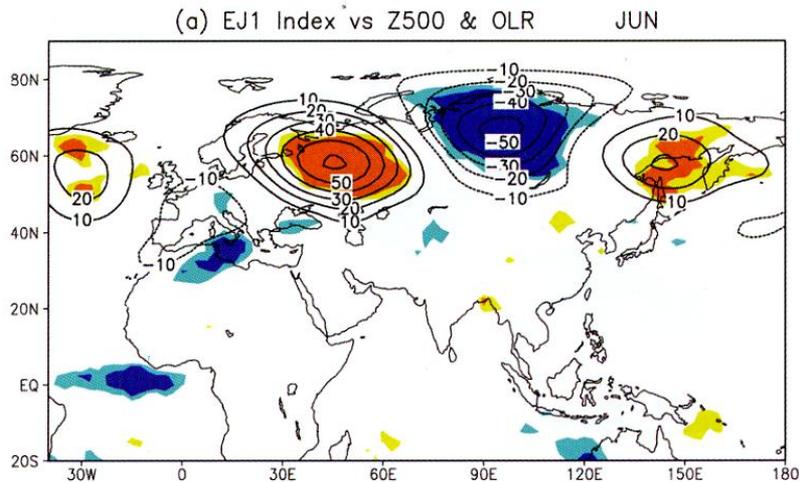


8月の北日本平均気温と先行する4月の200hPa高度場との相関係数分布

Correlation between 500h Apr and Aug, 1998–2010

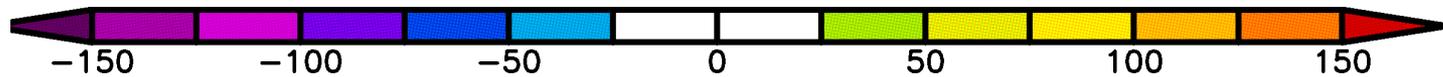
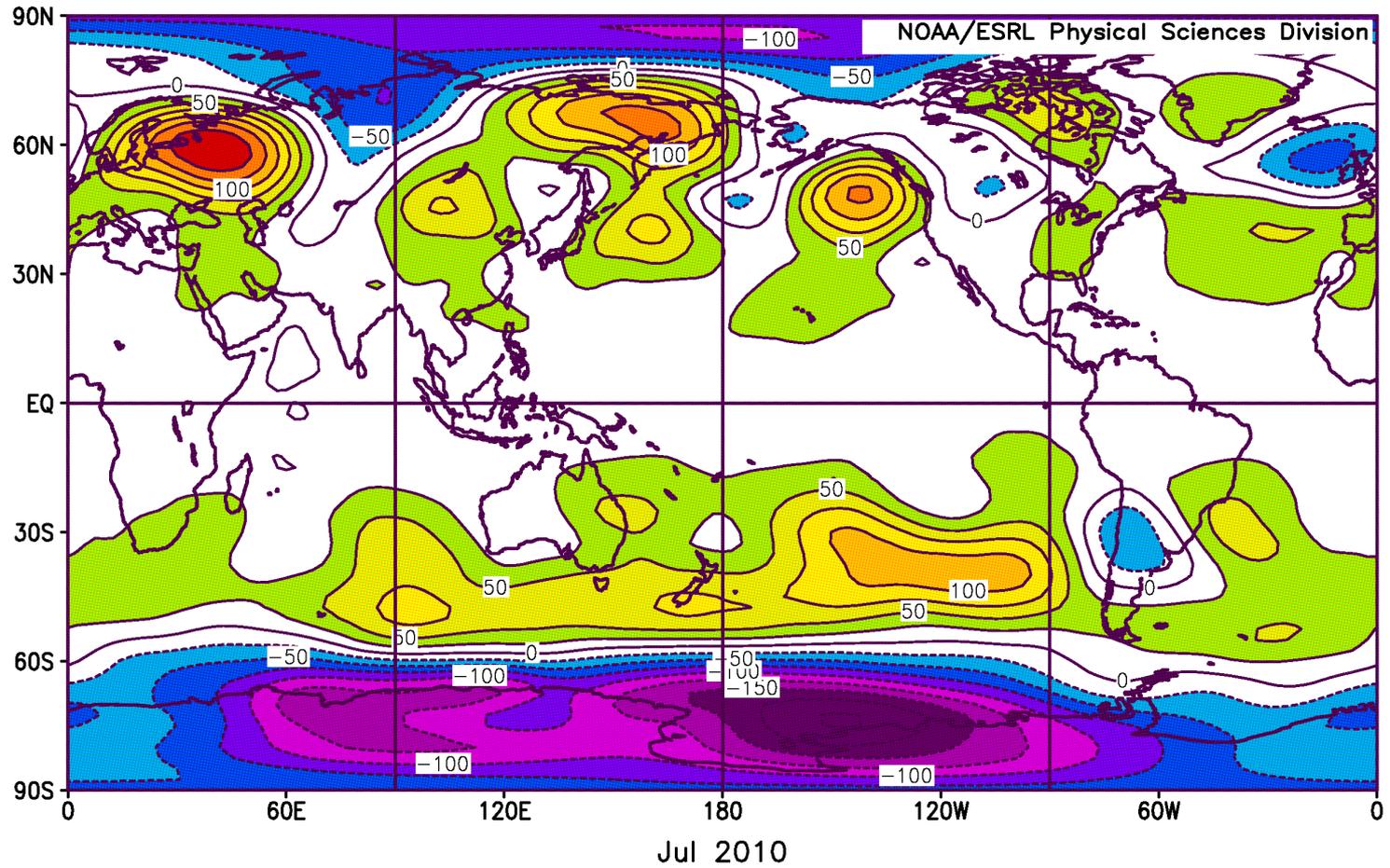


4月と8月の500hPa高度の相関係数分布



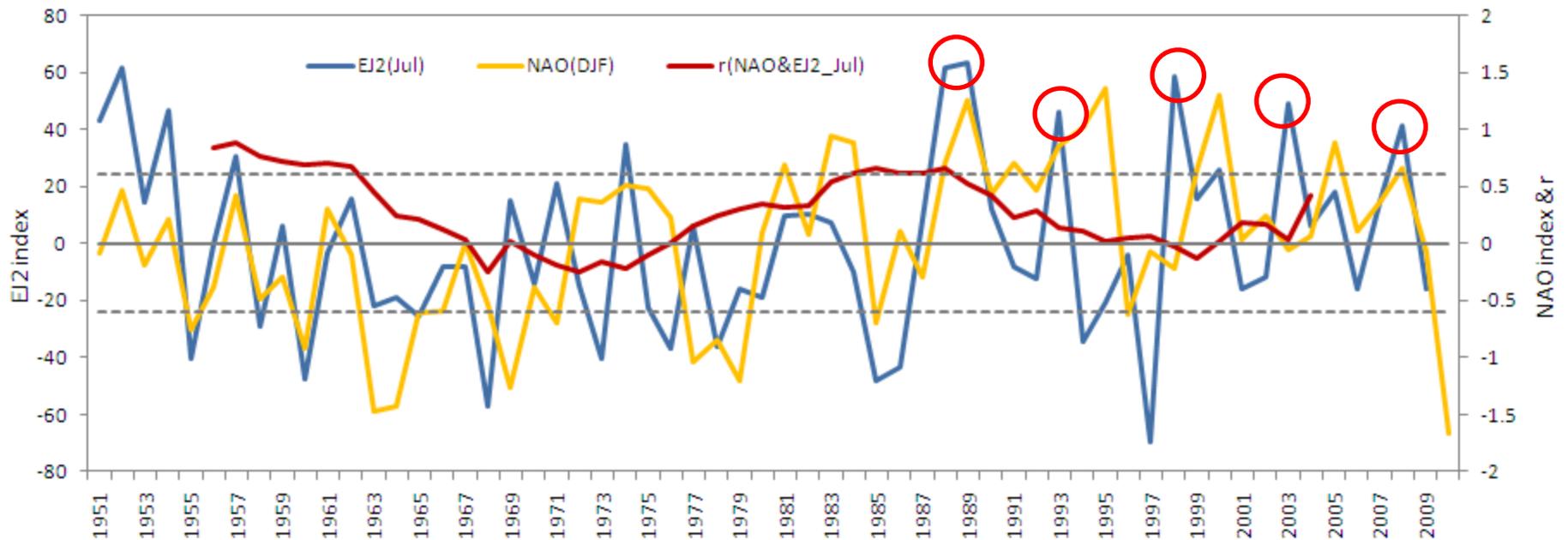
日本の夏に影響を及ぼすと考えられている4つのテレコネクションパターン

500mb Geopotential Height (m) Composite Anomaly 1968–1996 climo



2010年7月の500hPa高度偏差

EJ2は5年ごとの冷夏と良く一致



2つのテレコネクションパターンインデックスの時間変化。
NAO(North Atlantic Oscillation)は冬(DJF)、EJ2(Eurasia Japan)は7月。

Cool weather damage in 2003

Rice production index: 80



The damage rate: 29.4%

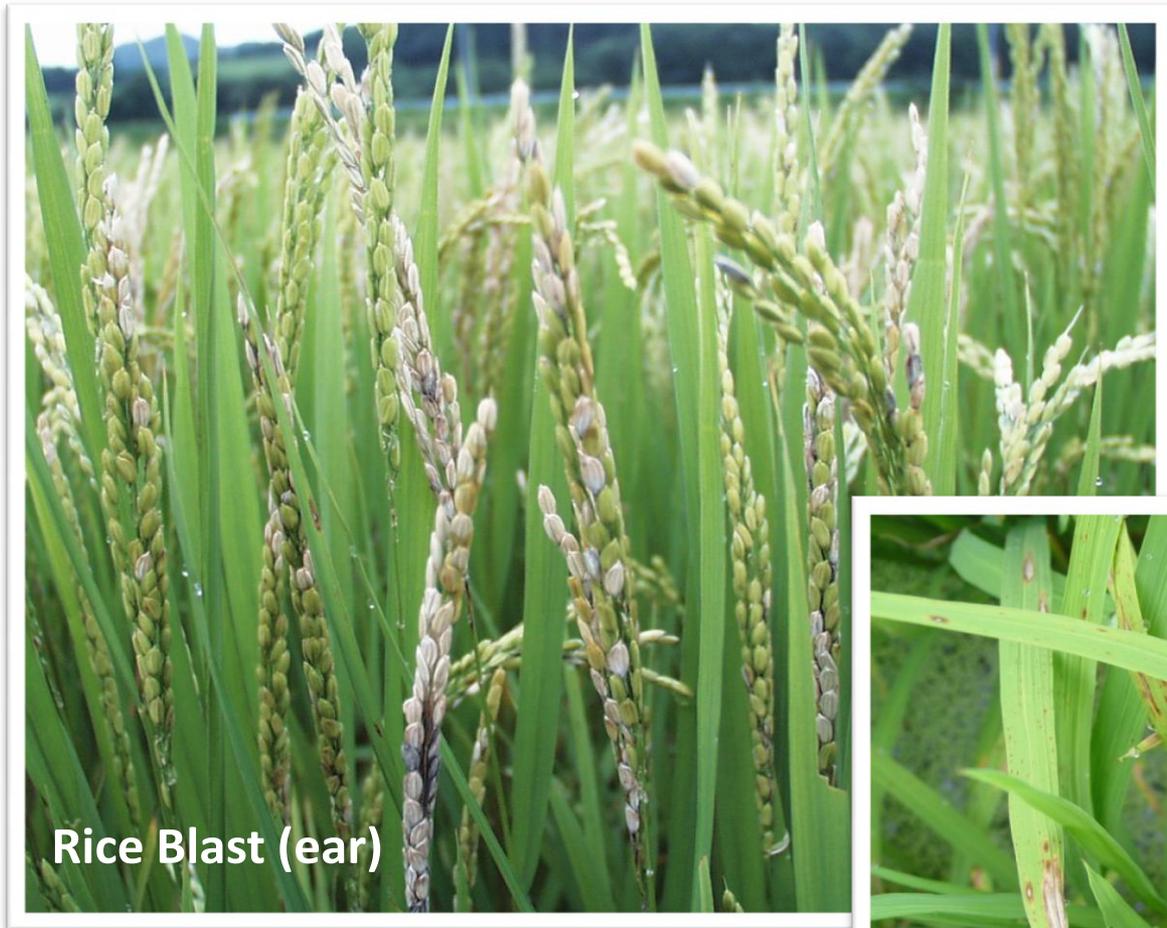


By Yamase wind : 23.3%



By rice blast disease: 5.3%

イネいもち病



Rice Blast (ear)

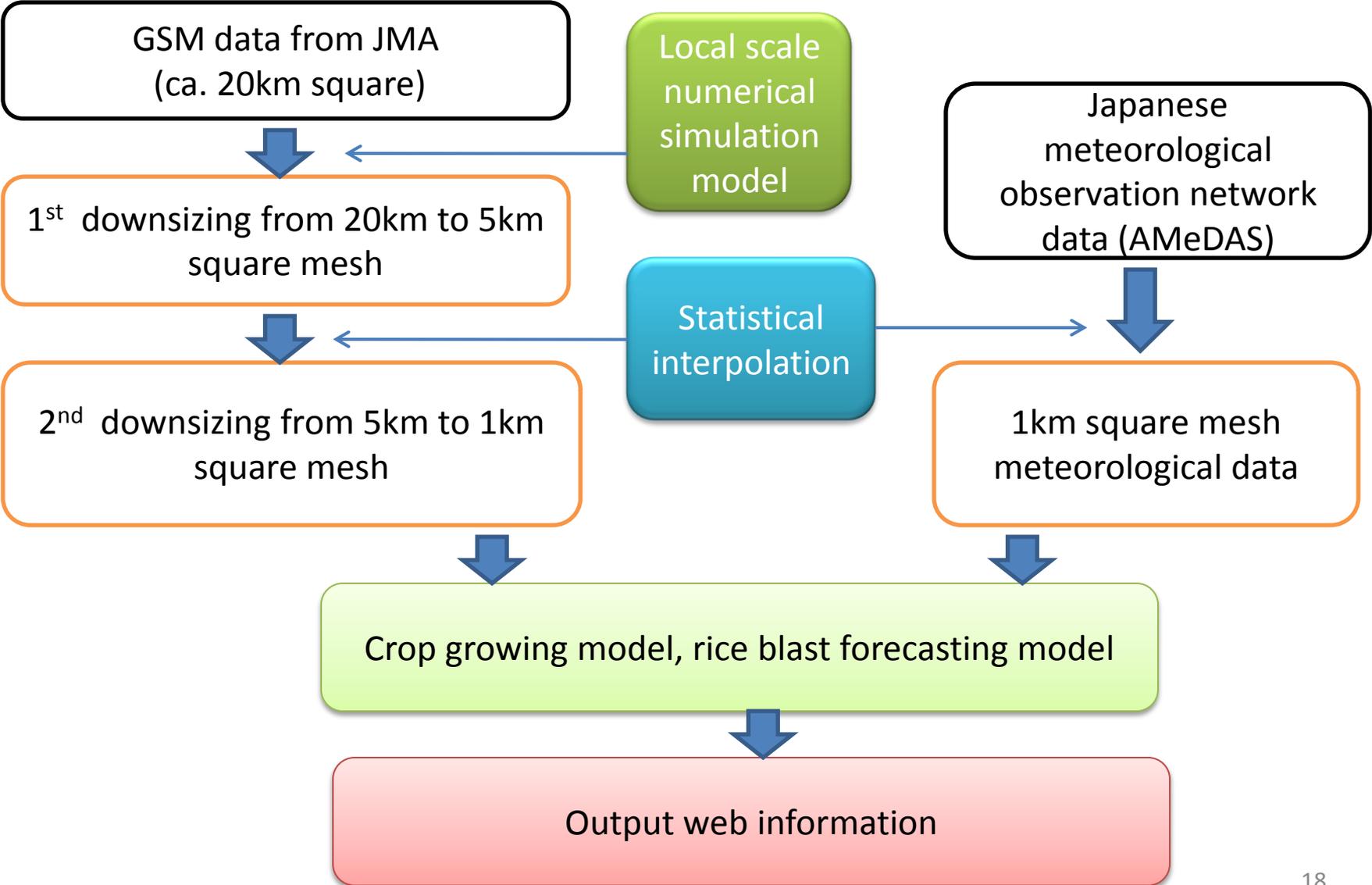
穂いもち



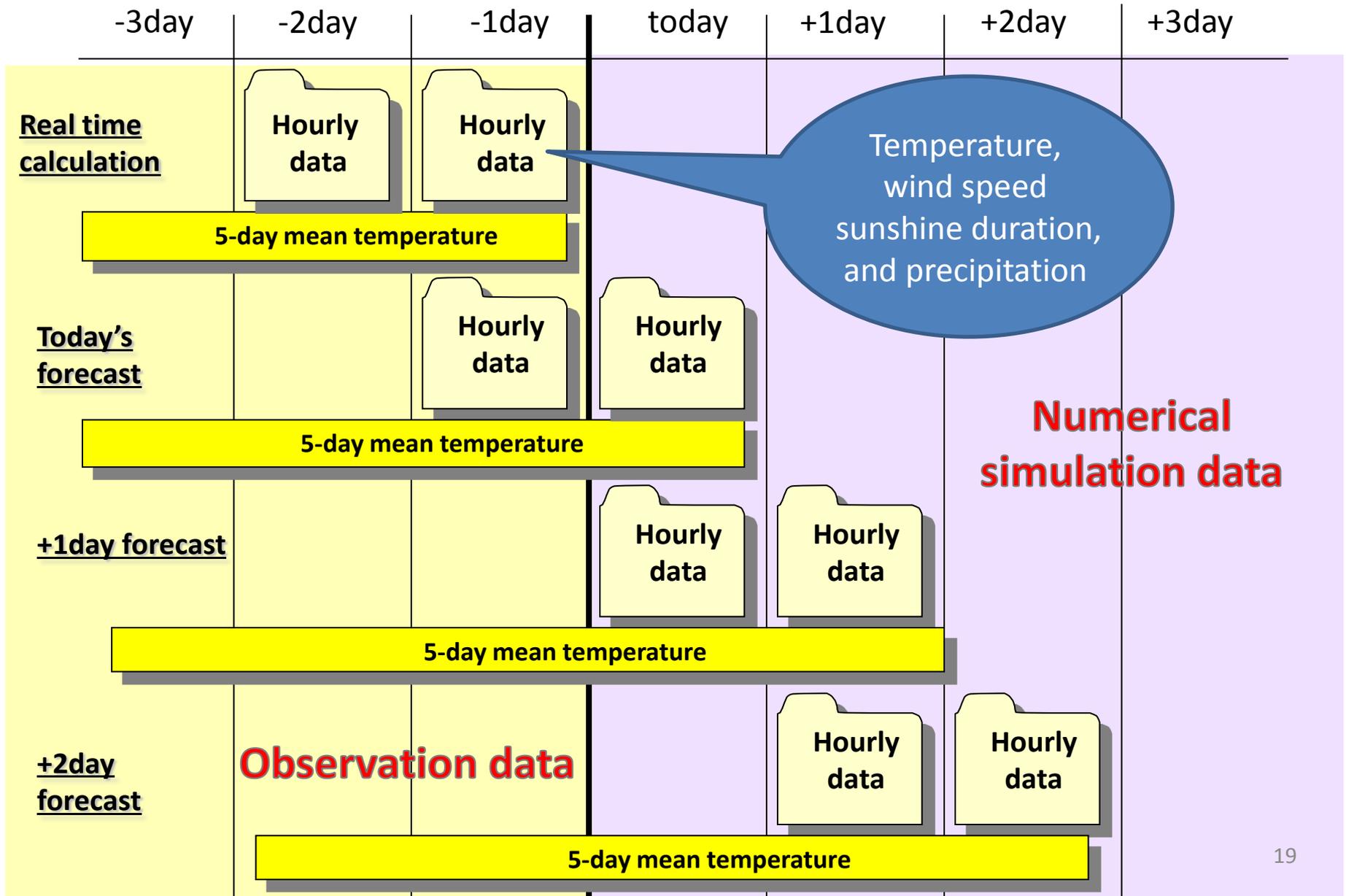
Rice Blast (leaf)

葉いもち

Data and calculation procedure



Calculation process of the rice blast forecast model :BLASTAM



Rice blast warning map 3

Close up around the Matsushima Bay

東北農業研究センター - Windows Internet Explorer

http://gis1.tnaes.affrc.go.jp/tohoku/map

ここからJWord検索

Google

ファイル(F) 編集(E) 表示(V) お気に入り(A) ツール(T) ヘルプ(H)

Liquid Surf 100% 通常表示

Google 検索

お気に入り おすすめサイト HotMailの無料サービス Microsoft ODNキサイト 本日のおすすめアドオン Windows Update Windows メディア インターネットの開始

東北農業研究センター

▼地図テーマ切替
水稲

独立行政法人 農業・食品産業技術総合研究機構
東北農業研究センター

計算実行日:2009年10月19日

施設検索 ログアウト

地図表示 凡例表示 属性表示

▼各種地図情報
葉いもち発生子察
2日先予測

▼基本地図情報
 3次メッシュ
 気象観測地点
 標高
 背景地図

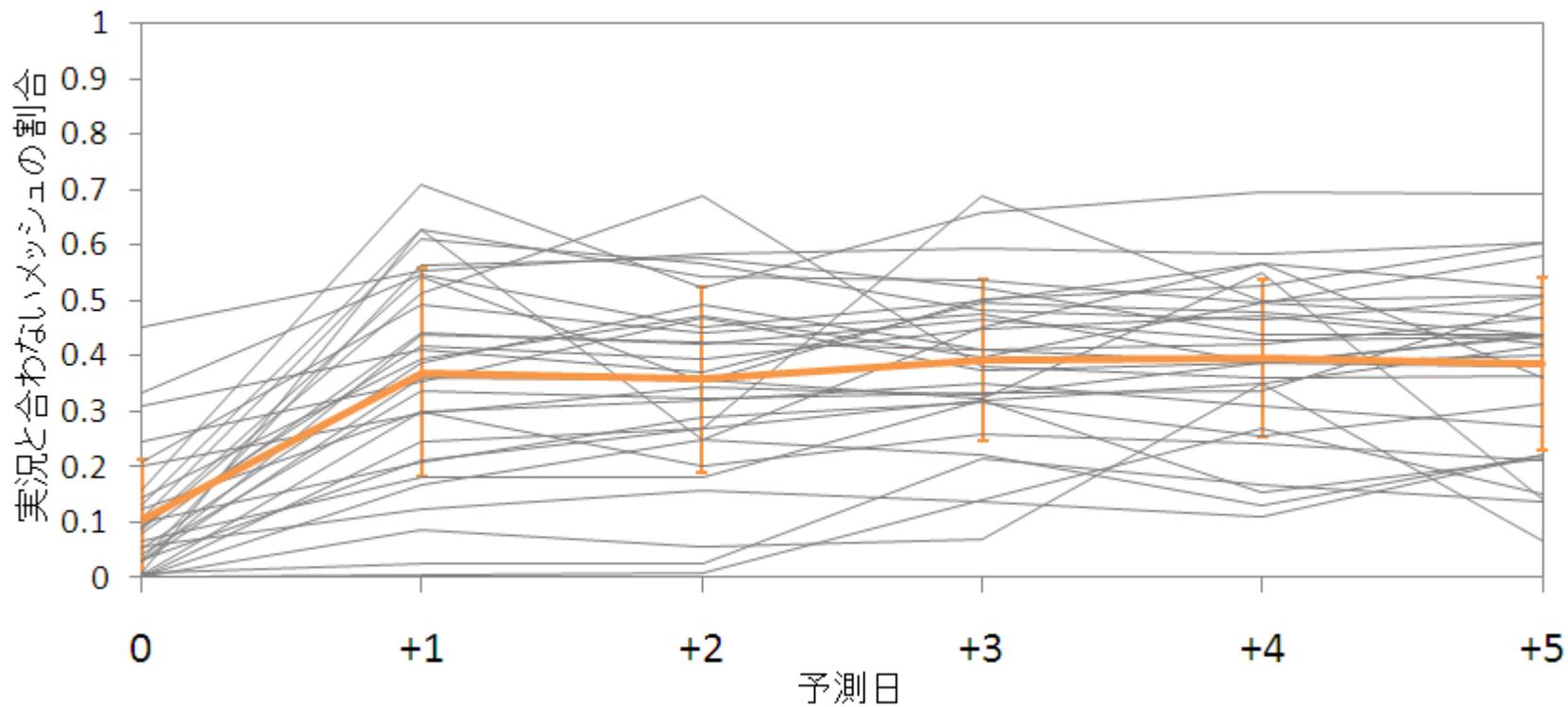
水稲生育予測グラフポイント

水稲生育予測の播種日設定、高温障害の目安
現在、都合により気温予測マップは表示していません。

この地図は、国土院の承認を得て、同院発行の数値地図 2500(空間データ基盤)及び気象庁の気象庁気象研究所の気象データを利用したものである。(承認番号 平 20 農産、第 183 号)

Copy Right (C) National Agricultural Research Center for Tohoku Region.

インターネット 100%



2009年7月1~31日におけるBLASTAM正答率

紋枯病の発生生態



菌核



土壌で越冬



代かき後に水面に浮上

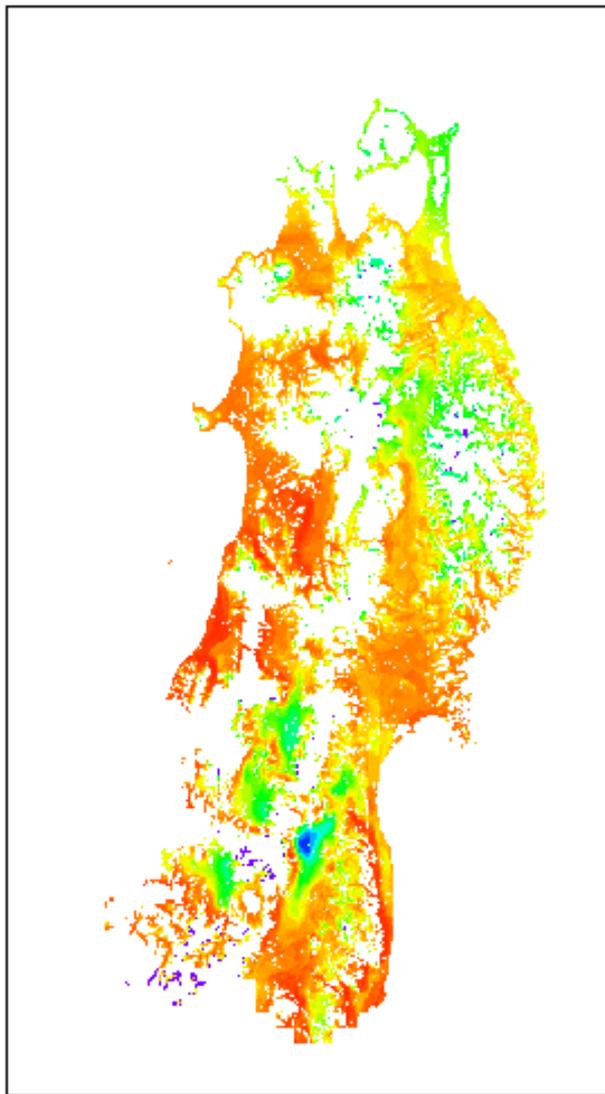


株に漂着して感染

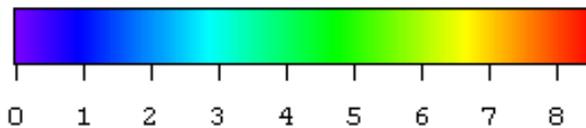


上位及び隣接株へ伝染

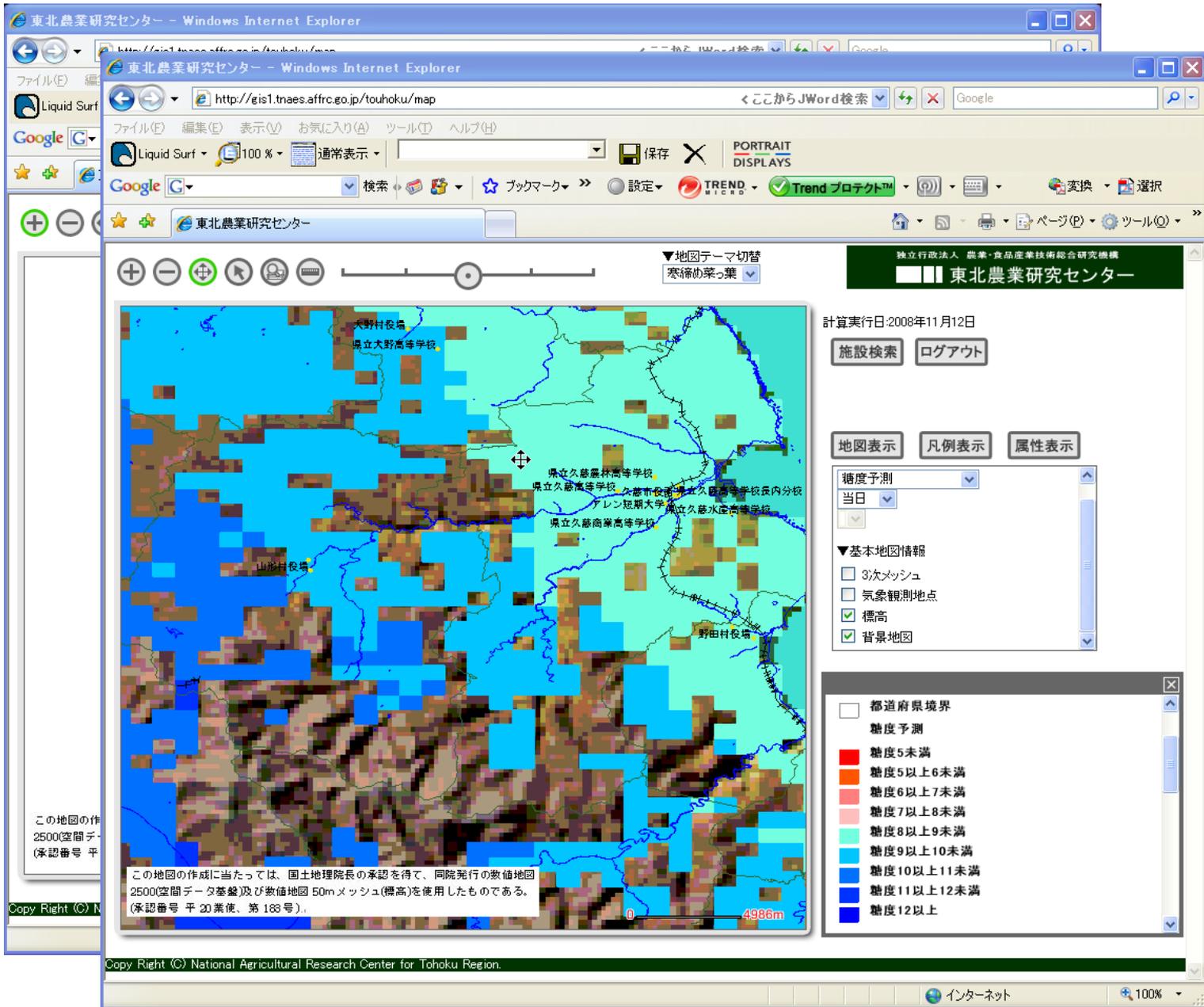




BLIGHTASによる、出穂日を8月10日とした7月21日の計算結果(2009年). 最大で8cm程度の上位進展が予測されている.



BLIGHTAS_LMAP0721_dat



寒締めホウレンソウ糖度情報

農業気象関係モデルに必要な気象要素

- 作物生育データ、寒締めホウレンソウ糖度：
日平均気温
- いもち病モデル：気温、日照時間、降水量、
風速(以上時別値)
- 紋枯病モデル：気温、相対湿度(以上時別値)

今後の研究予定

- ダウンスケールデータを適用可能な農業関連モデルの整理
- ダウンスケールデータの最適な適用技術開発(確率予報の導入等)
- モデルへの導入と検証(県との連携含む)
- ウェブ情報へのアウトプット